

文献目録

少貳氏関係文献目録

川添 昭二・朱雀 信城 共編

【凡例】

- 一 本目録は、川添昭二編「少貳氏関係文献目録（増補訂正版）」（太宰府市史編集委員会配付資料、2000年9月、未発表）を基とし、多少の増訂を加えたものである。なお、これ以前の少貳氏関係文献目録として、同編「少貳氏文献目録」（太宰府市史編集委員会配付資料、1987年9月）、同編「少貳氏文献目録」（『少貳氏と宗氏』10、1988年2月）、同編「大宰府関係文献目録」13少貳氏関係（『地域における国際化の歴史的展開に関する総合研究—九州地域における—』平成元年度科学研究費補助金総合研究（A）研究成果報告書〈研究代表者川添昭二〉、1990年3月）、同編「増補少貳氏関係論文目録」（『少貳氏と宗氏』26、1996年1月）がある。
- 一 少貳氏が北部九州の政治史（鎮西探題・九州探題・征西府・大内氏他）や対外関係史に深く関わることから、これらの研究文献に少貳氏について言及するものが少なくないが、煩雑となるため一部を除き割愛した。これらの研究文献については他日を期したい。
- 一 少貳・宗体制懇話会発行の『少貳氏と宗氏』全36号（1983年6月～2002年4月）は、まとめた成果であるので、別にまとめて末尾に付した。

作 者	表 題	出 典（発行所）	年月
井土学圃	武藤少貳考	※国書人名辞典より採録	
小林庄次郎	多々良浜の合戦	歴史地理2-8	1900.11
高原謙次郎	武藤少貳の経歴及太宰府地方の治乱 第1回～第7回	福岡県教育会々報17～20、22、24、25	1901.01～09
藤田明	応永廿六年の外寇	歴史地理6-6	1904.06
	少貳家の末裔顯はる	九州毎日新聞（2/9～2/19、全9回）	1909.02
渡辺世祐・八代国治	『武蔵武士』	（博文館）、のち有峰書店より復刻（1971.03）、有峰書店新社より復刻（1987.10）	1913.03
藤田明	『征西將軍宮』	宝文館、のち非売品として復刻（1915.12）、文献出版より復刻（1976.03）	1915.06
田中耕祐	『大原戦史』	（小郡村自強会・小郡尋常小学校・帝国在郷軍人会小郡村分会）、のち田中穂積により出版（1941.06）、小郡市郷土史研究会復刻（1972.11）	1915.09
	少貳家の本家争—朝倉古賀家と浮羽武藤家—／少貳家正潤問題	福岡日日新聞（1/13、22、27）	1916.01
武谷水城	贈位の恩典に浴せる 小貳三資（1）～（17）	福岡日日新聞（1/22～2/03・05・07～09）、のち「小貳の五資と其墳墓」と改題し筑紫史談8（1916.02）に再録	1916.01、02
古川勝隆	小貳氏の贈位に就て所感	筑紫史談8、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1970.01）	1916.02
飯島茂	太平記に現れたる少貳一色両氏の交戦地古浦城の所在及其の交戦の年月に就て	筑紫史談12、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1970.08）	1917.03
中島利一郎	綾杉・立石・板碑について（下）	筑紫史談40、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1974.02）	1927.04
中島利一郎	多摩の板碑と武藤資頼	武蔵野10-5	1927.12
武藤直治	大保原合戦に関する墳墓伝説地	『福岡県史蹟名勝天然紀念物調査報告書』4、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1967.11）	1929.03

川本達	宗貞国の宮崎八幡宮経営 一、二（世間未知の史実）	筑紫史談52・53、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1975.09.12）	1931.04、08
後藤謙太郎	壱岐神社祭神贈従四位武藤資時公の事蹟書	（長崎県壱岐支庁内壱岐神社創建奉賛会）	1933.01
松尾禎作	吉野室町戦国時代勝尾城及附近史蹟	『佐賀県史蹟名勝天然記念物調査報告』4、のち青潮社より復刻（1976.05）	1934.03
川勝政太郎	九州に於ける特殊五輪石塔の二例	考古学雑誌24・4	1934.04
島田寅次郎	福岡県に於ける中世の墳墓	『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書12 史蹟之部』（福岡県）、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1976.11）	1937.03
古賀益城	古賀系譜	（古賀氏同族会）	1937.04
加藤友久	太刀洗川と菊池渡	筑紫史談71、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1978.04）	1937.09
中村直勝	多々良浜の合戦	高柳光寿編『大日本戦史』1（三教書院）	1937.11
水足蘭秋	元寇役に於ける少武資能、経資、景資、資時四公の殊勲	（古賀氏同族会）	1938.03
古賀益城	考証古賀家譜 上・下	郷土研究筑後6・10、7・11、のち筑後復刻委員会より復刻（第20分冊:1975.03、第22分冊:1975.06）	1938.10、1940.04
麻生氏竹叟子著、垣本言雄校訂	筑紫諸家興廃記 上 筑前国	『大分県郷土史料集成 戦記篇』下（大分県郷土史料刊行会）、のち臨川書店より復刻（1973.10）	1938.11
島田寅次郎	謝国明の碑文に関する訂正始末	筑紫史談74、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1978.07）	1939.02
大熊浅次郎	承天過去帳 安養院址碑 太宰少武藤資頼歿年誤謬の考証	筑紫史談75、のち福岡県文化財資料集刊行会より復刻（1978.09）	1939.09
白井信義	筑紫氏に就て上・下	歴史地理76・2、3	1940.08、09
田中健夫	麝香の臍	日本歴史39、のち同『対外関係と文化交流』（思文閣出版、1982.11）に再録	1951.08
大塚徳郎	鎌倉御家人の奥羽移住について	文化17・3	1953.05
藤井貞文解説	筑紫文書	上野図書館紀要2	1955.06
相田二郎	『蒙古襲来の研究』	（吉川弘文館）、のち再訂重版（1971.06）、増補版（1982.09）	1958.02
石井進	大宰府機構の変質と鎮西奉行の成立	史学雑誌68・1、のち同『日本中世国家史の研究』（岩波書店、1970.07）、同『石井進著作集1 日本中世国家史の研究』（岩波書店、2004.09）に再録	1959.01
川添昭二	弘安八年筑前国岩門合戦について	九州史学16	1960.08
与崎淳	筑紫安養院跡五輪塔	史迹と美術309	1960.11
瀬野精一郎	鎮西奉行考	九州文化史研究所紀要8・9合併号、のち同『鎮西御家人の研究』（吉川弘文館、1975.02）に再録	1961.03
	横岳家文書	『佐賀県史料集成 古文書編』6	1962.03
川添昭二	南北朝時代における少武氏の守護代について 上・下	九州史学24、25、のち同『九州中世史の研究』（吉川弘文館、1983.03）に再録	1963.07、12
川添昭二	鎌倉・南北朝時代における少武氏の所領	九州文化史研究所紀要11、のち同『九州中世史の研究』（吉川弘文館、1983.03）に再録	1966.03
川添昭二	『日本の武将18 菊池武光』	（人物往来社）	1966.06
	筑紫文書	『熊本県史料』中世篇5（熊本県）	1966.07
長正統	中世日鮮関係における巨酋使の成立	朝鮮学報41	1966.10
正木喜三郎	府領形成の一考察	西日本史学18、のち同『大宰府領の研究』（文献出版、1991.10）に再録	1966.11
田村洋幸	『中世日朝貿易の研究』	（三和書房）	1967.09
古賀益城	『祖勲遺芳』	（古賀氏同族会）	1967.11

正木喜三郎	府領考	竹内理三編『九州史研究』（御茶の水書房）、のち同『大宰府領の研究』（文献出版、1991.10）に再録	1968.06
長沼賢海	『邪馬台と大宰府』	（太宰府天満宮文化研究所）	1968.09
川添昭二	鎌倉期における少貳氏の動向	歴史教育16-12、のち同『中世九州の政治と文化』（文献出版、1981.06）に再録	1968.12
川添昭二	少貳頼尚と南湊寺	日本歴史254、のち同『九州中世史の研究』（吉川弘文館、1983.03）に再録	1969.07
福岡県教育委員会	『浦城跡 筑紫郡太宰府町所在中世城跡の調査』	（福岡県教育委員会）	1970.03
石井進	『日本中世国家史の研究』	（岩波書店）	1970.07
	筑紫家文書	村田正志編『宮崎宮史料』（宮崎宮）	1970.10
川添昭二	鎌倉時代の筑前守護	日本歴史274、のち同『九州中世史の研究』（吉川弘文館、1983.03）に再録	1971.03
竹内理三・川添昭二編	『大宰府・太宰府天満宮史料』巻7～17	（太宰府天満宮）	1971.10～2003.03
阿蘇品保夫	中世鋳物師組織の推移試論－阿蘇品鋳物師文書の紹介をかねて－	熊本史学39	1971.11
山口隼正	南北朝期の肥後国守護について－菊池武光まで－	東京大学史料編纂所報6、のち同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1972.03
亀井明德	九州出土の宋・元代陶磁器の分析－大宰府出土品を中心として－	考古学雑誌58-4、のち同『日本貿易陶磁史の研究』（同朋舎出版、1986.11）に再録	1973.04
川添昭二	岩門合戦再論－鎮西における得宗支配の強化と武藤氏－	森克己博士古稀記念会編『史学論集対外関係と政治文化』第二（吉川弘文館）、のち同『九州中世史の研究』（吉川弘文館、1983.03）に再録	1974.02
	秀郷九代頼平のこと（武藤氏祖）	井上勝仁監修『武藤一族』（日本家系協会出版部）	1972.08
轟木一二三	筑紫氏と勝尾城について	鳥栖史話会 郷土研究4	1974.04
瀬野精一郎	『鎮西御家人の研究』	（吉川弘文館）	1975.02
山口隼正	南北朝期の筑前国守護について	国史学95、のち同『中世九州の政治社会構造』（吉川弘文館、1983.05）、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1975.03
川添昭二	大宰少貳冬尚伝稿	大宰府研究会会報14	1975.08
乾達雄	『或る中国人の墓－謝国明と元寇の頃－』	（日中共同声明実行促進福岡懇話会）	1976.04
柳田快明	室町幕府権力の北九州支配－十五世紀前半の筑前国を中心として－	九州史学59、のち木村忠夫編『戦国大名論集7 九州大名の研究』（吉川弘文館、1983.12）に再録	1976.06
那珂川町教育委員会編	『郷土誌那珂川』	（那珂川町）	1976.10
広渡正利	『博多承天寺史』	（文献出版）	1977.03
高倉洋彰	筑紫観世音寺子院小考	九州歴史資料館研究論集3、のち「中世観世音寺の隆盛」と改題して同『大宰府と観世音寺－発掘された古代の筑紫－』（海鳥社、1996.11）に再録	1977.03
権熹耕	至元六年銘紺紙金字法華経について	仏教芸術113	1977.06
坂崎善之	『武藤一族 武藤家』	（家名系譜研究所）	1977.07
渡辺文吉	大宰少貳武藤氏360年の盛衰の跡をたずねて	ふるさとの自然と歴史76	1977.09
佐伯弘次	永享十二年少貳嘉頼『御免』をめぐって	大宰府研究会会報26	1978.06
田中健二	鎌倉幕府の社寺造営－宇佐八幡宮を中心として－	川添昭二編『九州中世史研究』1（文献出版）	1978.11
佐伯弘次	大内氏の筑前国支配－義弘期から政弘期まで－	川添昭二編『九州中世史研究』1（文献出版）	1978.11
渡辺文吉	対馬はしりあるき	ふるさとの自然と歴史91	1978.12

山口隼正	南北朝期の豊前国守護について	東京大学史料編纂所報13、のち同『中世九州の政治社会構造』（吉川弘文館、1983.05）、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1979.03
渡辺文吉	『大宰少弐武藤氏－その栄光と衰亡－』	（歴史と自然を守る会）	1979.03
渡辺文吉	武藤少弐氏の「寄懸目結の旗印」	ふるさとの自然と歴史99	1979.08
古賀稔康	松浦党研究余録 青幡神社の勝軍地蔵・横岳鎮貞の胴巻など	佐賀民俗学3	1979.11
藤田俊雄	鎌倉期の大宰府機構について	史燈3	1979.12
竹内理三・田中健夫・瀬野精一郎	『長崎県史』古代中世編	（吉川弘文館）	1980.03
坪井良平	「肥前古鐘銘屏風」について	歴史考古学4、のち同『歴史考古学の研究』（ビジネス教育出版社、1984.10）に再録	1980.03
武田昌憲	「梅松論」小考（1）－細川氏増補記事について－	古典遺産31	1980.12
森茂暁	建武政権と九州	川添昭二編『九州中世史研究』2（文献出版）	1980.12
外山幹夫	少弐氏の衰滅過程と龍造寺氏	藤野保編『佐賀藩の総合研究－藩政の成立と構造－』（吉川弘文館）、のち『中世九州社会史の研究』（吉川弘文館、1986.04）	1981.02
藤田俊雄	鎌倉初期の大宰府機構について	熊本史学55・56合併号	1981.05
川添昭二	歴史探訪 水島の陣	瀬野精一郎編『日本歴史展望5 分裂と動乱の世紀』（旺文社）	1981.07
瀬野精一郎	鎌倉幕府による鎮西特殊立法について	御家人制研究会編『御家人制の研究』（吉川弘文館）	1981.07
中原町史編纂委員会編	『中原町史』上	（中原町）	1982.03
橋本操六	関東奉行人大友頼泰とその権限	大分県地方史105	1982.03
武田昌憲	少弐氏の顕賞（マ）と古写本「梅松論」－「梅松論」小考（2）－	古典遺産33	1982.10
福川一徳	江戸筑紫家文書調査報告	封建社会研究4	1983.03
川添昭二	『九州中世史の研究』第一部少弐氏の研究	（吉川弘文館）	1983.03
山口隼正	『中世九州の政治社会構造』	（吉川弘文館）	1983.05
瀬野精一郎	九州少弐・菊池氏 宿命の対決	歴史と人物13-9	1983.08
武田昌憲	京大本『梅松論』の問答体部分について－「梅松論」小考（3）－	古典遺産34	1983.09
瀬野精一郎	少弐頼尚の足利直冬与同時期について	『南北朝遺文』月報3、のち同『歴史の陥穽』（吉川弘文館、1985.06）	1983.10
藤田俊雄	鎌倉中期文永年間の大宰府機構－大隅国正八幡宮大神宝用途をめぐって－	九州歴史資料館編『九州歴史資料館開館十周年記念 大宰府古文化論叢』上（吉川弘文館）	1983.12
三根町史編さん委員会編	『三根町史』	三根町教育委員会	1984.03
有川宜博	武藤崇観のこと	地方史ふくおか50	1985.03
川添昭二	大宰府の終末	『大宰府の歴史』5（西日本新聞社）、のち同『九州の中世世界』（海鳥社、1994.04）	1986.03
渡辺文吉	武藤少弐氏－有智山城攻防二百年－	『大宰府の歴史』5（西日本新聞社）	1986.03
外山幹夫	『中世九州社会史の研究』	（吉川弘文館）	1986.04
渡辺文吉	九州縦貫自動車道工事によって消滅する「山田城」をとむらうの記	ふるさとの自然と歴史186	1986.11
工藤勝彦	鎌倉幕府初期の訴訟制度に関する考察（Ⅱ）－鎮西における幕府裁判権－	史叢38	1987.01
柴坂直純	鎮西における鎌倉幕府の寺社造営について－宇佐八幡宮造営奉行人の分析を中心として－	中央大学大学院論究19	1987.03

由比章祐	怡土志摩における少貳氏	福岡地方史研究会会報26	1987.03
明治大学刑事博物館	筑前国筑紫文書	『明治大学刑事博物館図録 続集』（明治大学刑事博物館）	1987.03
武田昌憲	多々良浜合戦・新考－史実と『梅松論』『太平記』－	軍記と語り物23	1987.03
長節子	『中世日朝関係と対馬』	（吉川弘文館）	1987.06
佐野量幸	『筑後川物語 筑紫広門の生涯』	（葦書房）	1987.08
大田幸博	球磨郡山田城の発掘調査について	日本歴史473	1987.10
桑田和明	南北朝時代における筑前宗像氏の動向と守護少貳氏	地方史研究210、のち「南北朝時代の宗像氏と少貳氏」と改題して、同『中世史研究叢書3 中世筑前国宗像氏と宗像社』（岩田書院、2009.05）に再録	1987.12
	筑紫家文書	『佐賀県史料集成 古文書編』28（佐賀県立図書館）	1987.12
本多美穂	室町時代における少貳氏の動向－貞頼・満貞期－	九州史学91、のち少貳氏と宗氏24、25（1995.01、07）に転載	1988.02
	筑紫家資料	『昭和60年度収集収蔵品目録』3（福岡市教育委員会）	1988.03
福川一徳	少貳氏	今谷明・藤枝文忠編『室町幕府守護職家事典』下（新人物往来社）	1988.11
吉永正春	『大宰府戦国史』	（太宰府天満宮）、のち海鳥社より新装版（1993.06）	1988.12
吉村典浩	南北朝時代の研究－少貳氏の守護領国制に関する考察－	佐賀大学・教育研究学内特別経費による研究報告書『佐賀平野の歴史地理学的研究・第一部』	
山口隼正	『南北朝期九州守護の研究』	（文献出版）	1989.03
佐伯弘次	北九州に戦火燃ゆ！ 名族・少貳氏、大内氏との戦いに衰亡す	『歴史群像シリーズ12 戦国九州軍記』（学習研究社）	1989.06
富岡行昌	少貳氏と松浦党（一）～（四）	松浦党研究12～15、のち同『傘寿記念 松浦党研究の歩み』（非売品、2003.09）に再録	1989.07、 1990.06、 1991.06、 1992.06
渡辺文吉	『武藤少貳興亡史』	（海鳥社）	1989.09
富岡行昌	松浦氏	『地方別日本の名族11 九州編Ⅰ』（新人物往来社）	1989.09
外山幹夫	少貳氏	『地方別日本の名族11 九州編Ⅰ』（新人物往来社）	1989.09
山村信榮	太宰府の中世山城	都府楼9	1990.03
鳥栖市教育委員会編	『筑紫氏と鳥栖の山城－鳥栖の町づくりと歴史・文化講座－』	（鳥栖市教育委員会）	1990.03
福川一徳編	『九州史料落穂集7筑紫文書』	（文献出版）	1990.05
広渡正利	『博多承天寺史補遺』	（文献出版）	1990.05
本多美穂	鎌倉時代の大宰府と武藤氏	九州大学国史学編集室編『古代中世史論集』（吉川弘文館）	1990.08
武田昌憲	多々良浜合戦における足利方の活躍小考－『梅松論』と『太平記』－	茨女国文3	1991.03
渡辺文吉	足利尊氏と少貳頼尚の葛藤	福岡地方史研究29	1991.05
森茂暁	蒙古襲来と朝幕交渉	同『鎌倉時代の朝幕関係』（思文閣出版）※新稿	1991.06
平川定美	少貳氏と松浦氏－特に少貳政資を中心として－	談林32	1991.10
正木喜三郎	『大宰府領の研究』	（文献出版）	1991.10
千田嘉博	勝尾城下町の構成	日本歴史524	1992.01
柳川古文書館	筑紫家文書	『柳川古文書館史料目録5 収集諸家文書目録Ⅱ』（柳川古文書館）	1992.03

平川定美	少弐氏と宗氏	松浦党研究15	1992.06
福川一徳	筑紫氏と筑紫文書	栖21	1992.10
宮武正登	勝尾城と肥前の山城	栖21	1992.10
佐伯弘次	永享十二年少弐嘉頼赦免とその背景	地方史研究協議会編『異国と九州－歴史における国際交流と地域形成－』（雄山閣）	1992.10
釈迦堂光浩	鎌倉初期大宰府府官について－惟宗為賢を通して－	地方史研究協議会編『異国と九州－歴史における国際交流と地域形成－』（雄山閣）	1992.10
佐伯弘次	室町時代における大内氏と少弐氏－蜷川家文書「大内教弘書案」の検討－	史淵130	1993.03
武田昌憲	『太平記』の少弐氏	茨城女子短期大学紀要21	1994.03
渡辺文吉	多久専称寺、少弐資元の墓によせて	西南地域史研究9	1994.09
平川定美	「松浦鎮」再考	松浦党研究18	1995.06
田代和生・米谷均	宗家旧蔵「図書」と木印	朝鮮学報156	1995.07
芥川達男・福川一徳編校訂	横岳文書1・2・3	『西国武士団関係史料集』22・23・24（文献出版）	1996.02、04、05
	筑紫氏関係資料	『平成5年度収集収蔵品目録』11（福岡市博物館）	1996.03
佐藤鉄太郎	竹崎季長と霜月騒動、岩門合戦	中村学園研究紀要28	1996.03
佐藤鉄太郎	岩門合戦について	中村学園研究紀要28	1996.03
青山幹哉	中世武士における官職の受容－武士の適応と官職の変質－	日本歴史577	1996.06
馬渡和広	征西府支配の構造	熊本史学72・73合併号	1996.12
松隈嵩	戦国の城と城下町－平成八年度鳥栖の町づくりと歴史・文化講座報告－	『戦国の城と城下町－平成八年度鳥栖の町づくりと歴史・文化講座－』（鳥栖市教育委員会）	1997.03
高尾平良	九州の城をめぐる武将たちの攻防と筑紫広門	『戦国の城と城下町－平成八年度鳥栖の町づくりと歴史・文化講座－』（鳥栖市教育委員会）	1997.03
堀本一繁	肥前勝尾城主筑紫氏に関する基礎的考察	『戦国の城と城下町－平成八年度鳥栖の町づくりと歴史・文化講座－』（鳥栖市教育委員会）	1997.03
佐伯弘次	中世対馬海民の動向	秋道智彌編『海人の世界』（同文館出版）	1998.03
櫻井大	武藤・大友両氏の鎮西奉行就任	国際文化研究紀要4	1998.10
堀本一繁	肥前勝尾城主筑紫氏に関する基礎的考察	『鳥栖市文化財調査報告書第57集勝尾城下町遺跡』（鳥栖市教育委員会）	1999.03
櫻井大	蒙古襲来期の鎮西奉行	国際文化研究紀要5	1999.03
釈迦堂光浩	大府と宰府－鎌倉時代の大宰権帥と大宰大貳を中心に－	鎌倉遺文研究会編『鎌倉遺文研究Ⅰ 鎌倉時代の政治と経済』（東京堂出版）	1999.04
李領	『倭寇と日麗関係史』	（東京大学出版会）	1999.11
李領	<庚寅年以降の倭寇>と内乱期の日本社会	同『倭寇と日麗関係史』（東京大学出版会）※新稿	1999.11
佐伯弘次	少弐氏と肥前国	『戦国の城と城下町Ⅳ－鳥栖の町づくりと歴史・文化講座－』	2000.03
堀本一繁	明応の政変と少弐氏	福岡市博物館研究紀要10	2000.03
山口隼正	<史料紹介>佐々木文書－中世肥前国関係史料拾遺－	九州史学125	2000.05
市沢哲	『梅松論』における建武三年足利尊氏西走の位置－もうひとつの多々良浜合戦・湊川合戦－	神戸大学史学年報16	2001.05
山村信榮	守護武藤少弐氏の館	博多研究会誌9	2001.09

佐伯弘次	蒙古襲来と大宰府	都府楼33	2002.03
柳田純孝	元寇と博多	都府楼33	2002.03
伊藤幸司	蒙古襲来をめぐる円爾と南浦紹明	都府楼33	2002.03
山村信榮	中世大宰府と武藤少弐氏	都府楼33	2002.03
大隈和子・北村景子・須佐真理編	蒙古襲来と少弐氏関係史料集	都府楼33	2002.03
中西義昌	戦国期筑前中南部における領主権力の動向－縄張り研究に基づく領主権力の基礎的考察－	福岡地方史研究40	2002.07
荒木和憲	対馬島主宗貞茂の政治的動向と朝鮮通交	日本歴史653、のち「宗貞茂の政治的動向と朝鮮通交」と改題して同『中世対馬宗氏領国と朝鮮』（山川出版社、2007.10）に再録	2002.10
太宰府市史編集委員会編	『太宰府市史 中世資料編』	（太宰府市）	2002.10
	附編 少弐氏当主の花押・少弐氏花押集・少弐氏発給文書目録	太宰府市史編集委員会編『太宰府市史 中世資料編』（太宰府市）	2002.10
櫻井大	鎮西探題下における少弐氏と大友氏－職制上の地位とその権限を中心に－	国際文化研究紀要8	2002.12
秦野裕介	「倭寇」と海洋史観－「倭寇」は「日本人」だったのか－	立命館大学人文科学研究所紀要81	2002.12
富岡行昌	『傘寿記念 松浦党研究の歩み』	（非売品）	2003.09
荒木和憲	対馬島主宗貞盛の政治的動向と朝鮮通交	朝鮮学報189、のち「宗貞盛の政治的動向と朝鮮通交」と改題して同『中世対馬宗氏領国と朝鮮』（山川出版社、2007.10）に再録	2003.10
太宰府市史編集委員会編	『太宰府市史 年表編』	（太宰府市）	2004.03
山村信榮	守護武藤少弐氏と都市大宰府	『中世都市研究10 港湾都市と対外交渉』（新人物往来社）	2004.10
石橋新次	勝尾城下町遺跡における戦国期城館の諸様相	『中世都市研究10 港湾都市と対外交渉』（新人物往来社）	2004.10
太宰府市史編集委員会編	『太宰府市史 通史編Ⅱ』	（太宰府市）	2004.12
北茂安町史編集委員会編	『北茂安町史』	（北茂安町）	2005.02
武田昌憲	『太平記』筑後川の合戦	国文学 解釈と教材の研究50-3	2005.03
荒木和憲	一五世紀対馬宗氏の権力形成と朝鮮通交権	年報中世史研究30、のち「一五世紀宗氏権力の形成と朝鮮通交権」と改題して同『中世対馬宗氏領国と朝鮮』（山川出版社、2007.10）に再録	2005.05
宮崎亮一・長直信	発掘調査最新情報	都府楼37	2006.03
川添昭二・吉原弘道編	『大宰府・太宰府天満宮史料』補遺、附録	（太宰府天満宮）	2006.03、2009.03
下高大輔	太宰府有智山城跡について－近年の発掘調査と地表面観察による成果－	都府楼38	2006.12
荒木和憲	『山川歴史モノグラフ12 中世対馬宗氏領国と朝鮮』	（山川出版社）	2007.10
荒木和憲	文永七年二月日付大宰府守護所牒の復元－日本・高麗外交文書論の一齣－	年報太宰府学2	2008.03
佐伯弘次	新出少弐氏発給文書について	年報太宰府学2	2008.03
李領	14世紀の東アジアの国際情勢と倭寇－恭愍王15年（1366）の禁倭使節の派遣を中心に－	研究代表者村井章介『中世港湾都市遺跡の立地・環境に関する日韓比較研究 平成15年度～平成19年度科学研究費補助金研究成果報告書』	2008.03
李領	<庚寅年以降の倭寇>と松浦党－禰王3年（1377）の倭寇を中心に－	研究代表者村井章介『中世港湾都市遺跡の立地・環境に関する日韓比較研究 平成15年度～平成19年度科学研究費補助金研究成果報告書』	2008.03
鳥栖市教育委員会編	『鳥栖市誌3 中世近世編』	（鳥栖市）	2008.03
坂本和久	応永三十二年の筑前国の政治状況－「蜷川家文書」筑前底井野郷文書案から－	七隈史学10	2008.09

吉田賢司	室町幕府の守護・国人連合軍－永享の北九州争乱をめぐって－	年報中世史研究34	2009.05
小郡市埋蔵文化財センター編	『大原合戦六五〇周年記念事業 大原合戦展－九州南北朝最大の合戦－』	（大原合戦650周年実行委員会・小郡市教育委員会）	2009.07
森周蔵	少弐氏と肥前	佐賀民俗学20	2009.09
三浦龍昭	『征西將軍府の研究』	（青史出版）	2009.11

少弐・宗体制懇話会編『少弐氏と宗氏』収録文献目録

作 者	表 題	備 考
【第1号 1983年6月】		
	「少弐氏と宗氏を一緒に探求することに付て」並びに本会の趣旨と事業	
渡辺文吉	鍋島藩主と関氏（少弐元盛末裔）	
中山茂春	筑後の宗氏について	同『杏の花咲く筑紫路』（私家版、1979.11）より抜粋
	<資料紹介>「天文十六年 少弐冬尚感状」	宗勇行『宗家系譜』（名著編纂所、1976.12）より転載
渡辺文吉	少弐氏と宗像大宮司家	
渡辺文吉	推論「梶原景時墓碑考」	
	太宰少弐庶流古賀氏系図（藤原姓）	武藤律夫提供
	古賀氏沿革史（後武藤氏ニ復ス）	武藤律夫提供
	武藤少弐氏本流歴代略年表	
【第2号 1984年2月】		
渡辺文吉	弘安八年の岩門合戦－“岩門合戦再論”・川添昭二九大教授論文の抜粋と私見－	
松岡史	<講演要旨>岩門城探訪雑感	
	<資料紹介>「大友宗麟より宗鑑盛宛預け状」	宗勇行『宗家系譜』（名著編纂所、1976.12）より転載
編集部	古賀家譜について	
【第3号 1984年8月】		
大園隆二郎	肥前赤熊武者考	
	鯉坂城址考	佐々木高栄提供
	<資料紹介>「大友義統より宗新五郎（統家）宛書状」	宗勇行『宗家系譜』（名著編纂所、1976.12）より転載
田中子玉	<随想>わるい癖	
武藤松井	むとえむ様－朝倉東部に於ける武藤少弐氏の動行に就いて－	
	「大塚系譜」	大塚四郎提供
大塚四郎	少弐氏の史蹟探訪に参加して	
【第4号 1985年1月】		
古賀稔康	青幡神社の勝軍地藏・横岳鎮貞の胴巻など	佐賀民俗学3（1979.11）より再録
渡辺文吉	武藤頼平と東京都府中市資額銘板碑	
	筑紫氏の系譜	筑紫栄一・林典門提供
	肥前与賀の庄	宮本英樹『西与賀町の文化財』（1983.11）より抜粋
大塚四郎	肥前史跡の一日	
【第5号 1985年6月】		
上田純一	<卓話>博多禪の展開	
古賀稔康	<講話>少弐氏と松浦党	
渡辺文吉	三浦の乱について	
轟某編	勝尾城・筑紫氏沿革略年表	林典門提供
五郎丸剛志	筑後荒木氏系譜略解	藤篤介提供
	筑前国早良郡干隈村宗氏由緒書	宗徳実提供
渡辺文吉	<余談>再び武藤頼平について	
八尋勇	伊万里紀行 六十年三月三十一日、本会バスハイクに参加して	
	<資料紹介>肥前横岳文書二号・五号	

【第6号 1986年1月】		
佐伯弘次	永享十二年少式嘉頼「御免」をめぐって	大宰府研究会会報26（1978.06）より再録
吉武謹一	少式・宗体制と宗像	
渡辺文吉	肥前長尾山福満寺年譜のこと	
	<資料紹介>『桑野文書』	桑野岳幸提供
	<付>肥前竹崎観音平井坊のこと	貞包喜多海教示
江藤貫一	少式資時について	
	<座談会>林典門氏を迎えて「筑紫氏を語る」	
	筑豊・北九州方面探訪の記	
【第7号 1986年7月】		
有川宜博	御領越後入道本仏の死－豊前猪俣合戦について－	記録20・21（1980.06、1982.06）より再録
洲上登美	九州千葉氏歴代譜	房総の郷土史13（1985.03）より再録
宗勇行	宗姓の方々へ	
吉木豊	少式畑（しょうじばつけ）の伝承	
渡辺文吉	武藤資能墓碑は懐良親王の重臣少式頼澄が建立した	
	<資料紹介>旧陸軍戦史研究資料（国立国会図書館所蔵）－『日本城郭史資料別20・4』36九州一般37肥前国より－	
田中文夫	壱岐紀行	
林典門	筑紫氏史跡見学会報告	
【第8号 1987年1月】		
渡辺文吉	肥後球磨郡山田城について	
真玉景造	肥後球磨紀行	
田中文夫	山田城発掘見学会に参加して	
由比章祐	筑前国怡土・志摩における少式氏	
	<資料紹介>由比文書	
宮本英樹	宗源院開基神代勝利公系譜をたずねて	
編集部	昭和六十一年度総会及佐賀県富士町方面視察報告	
洲上登美	千葉県佐原に眠る殿様 鍋島忠茂	千葉日報1984.7.10号より再録
渡辺文吉	福岡県宗像郡津九少式家墓地見学記	
【第9号 1987年7月】		
福川一徳	筑紫上野介広門の晩年	
田中文夫	対馬見聞録	
八尋勇	対馬の神社を訪ねて	
渡辺文吉	宗氏世系成立への疑問	
安永資高	ロマンにみちた漁港曲部落	
後藤罔丸	「ヒトツバタゴ」について	
少式良暢	福岡県宗像郡村山田長龍寺歴代書	
	武藤頼平の墓所について	
武藤松井	思い出の小学唱歌 「敵兵六万少式の大軍」	
【第10号 1988年2月】		
洲上登美	九州千葉の祖宗胤と明意のこと－元寇国難の矢面に立った千葉氏武将－	房総の郷土史12（1984.03）より再録
渡辺文吉	いわゆる神風と宮崎宮の造営事情	
川添昭二編	少式氏文献目録	
	附「少式氏と宗氏」各号目次	
編集部	肥前鷹島・平戸見学行	
宮本藤秋	元寇の島鷹島	
水足蘭秋	<講演>元寇役に於ける少式四公の殊勲	
	<資料紹介>「田尻文書」蒙古合戦恩賞宛行状	
編集部	六十二年度総会及び糸島郡方面見学記	
【第11号 1988年8月】		
	<資料紹介>『少式教頼・供養石幢』（付）少式氏と鍋島氏のつながり	
柚谷圭三	対馬総官司家「藤氏」文書について	
渡辺文吉編	九州以外の少式氏一門の所領について	
西依祥一	筑紫古文書について	
編集部	<探訪記>筑前宗像西郷・東郷（付）荒神琵琶法師のこと	
洲上登美	<歴史随想>散る花にしのお	
編集部	佐賀市少式神社祭典参加及び同市内外史跡探訪	

【第12号 1989年2月】		
渡辺文吉	「冬敬」出奔 少式冬尚墓域の墓碑銘石について	
編集部	<資料紹介>武藤少式氏歴代花押	
編集部	江藤正澄本「横岳文書」について	
川崎幹二	<探訪記>山口県周南地方史跡	
測上登美	第九回山岳修験学会英彦山大会参加の記	
渡辺文吉	背振山東門寺と沙門青蓮	
【第13号 1989年7月】		
	<資料紹介>御油座文書写	
	<資料紹介>南浦紹明墨跡道号説	
渡辺文吉	少式氏・宗氏と梵鐘	
	筑紫文書について	福川一徳・林典門・西依祥一提供
宮本英樹	対馬・美津島町の征夷大將軍陸良親王陸（ママ）墓	
財部登	遣唐船ゆかりの五島福江島の旅	
八尋勇	五島列島と遣唐使船	
渡辺文吉	少式氏と五島「青方文書」	
	肥前神埼真正寺少式氏冬尚命日法要	
【第14号 1990年2月】		
小村克己	家系に歴史を見る－対馬宗氏の場合（上）－	
編集部	<資料紹介>『松花和歌集』－少式貞経、北条英時、大仏貞直（カ）、渋谷重棟の和歌－	
有川宜博	五嶋玉之浦町「大宝寺鐘銘」拓影	
編集部	<歴史探訪>佐賀県基山町大興禅寺・専念寺と福岡市剣塚古墳探訪 附一九八九年総会	
編集部	<歴史探訪>山口市に大内文化をたずねて	
江藤貫一	<歴史探訪>晩秋の肥前路紀行	
	平原氏系図	平原寿太提供
松隈嵩	対馬藩田代領の成立	
林典門	『鳥栖本照寺伝記』附 筑紫家系図	
荒木栄司	菊池武朝『肥後古城物語』より	
【第15号 1990年7月】		
小村克己	家系に歴史を見る－対馬宗氏の場合（中）－	
渡辺文吉	<資料紹介>正平丁未年大宰少式藤原頼澄銘宝篋印塔台座と金光寺跡遺跡	
川崎幹二	「筑紫氏と鳥栖の山城」のシンポジウムに参加して	
真玉景造	豊のくに国東の中世遺跡を探訪	
編集部	福岡県糸島と佐賀県名護屋方面史跡探訪記	
【第16号 1991年2月】		
川添昭二	<講演>足利尊氏と九州	
編集部	<資料紹介>武藤健市氏蔵『木像 阿弥陀如来坐像』	
編集部	北九州市立歴史博物館開館十五周年記念特別展『関門の潮流－翔けぬけた鎌倉武士たち－』の見学記	
渡辺文吉	大宰府「推定金光寺跡遺跡」に関しての再考察	
小村克己	家系に歴史を見る－対馬宗氏の場合（下）－	
編集部	平成元年度総会及び柳川、太宰府見学会	
【第17号 1991年7月】		
渡辺文吉	出羽国大泉庄武藤氏について	
大園隆二郎	「佐賀平野の中世における河川と市場」抜粋	『平成元年度佐賀大学教育研究学内特別経費による研究報告書』より抜粋
編集部	<資料紹介>木像弘法大師坐像	
編集部	『山陽道中世遺跡探訪記』－足利尊氏東上の軌跡を辿って－	
編集部	少式経資公七百年遠忌	
内藤正夫	卵七顆を産んだ対馬藩主夫人	郷土久留米59（1990.11）より再録
林典門	筑紫家一族会の行事報告	
田中文夫	筑紫神社参詣及び鳥栖勝尾城関係の史跡見学会に参加して	
編集部	少式神社例祭参列記	
【第18号 1992年1月】		
渡辺文吉	「黄色い蝶のむれ」－世界史を力で動かした硫黄の道－	
工藤敬一	藤吉光重丸言上状並びに足利尊氏書下（摘記）	日本歴史487（1988.12）より摘記

八尋勇	『吾妻鏡』にみる九州の武人たち－新人物往来社刊『全訳吾妻鏡』から－	
林典門	<資料紹介>江戸筑紫家の墓碑	
編集部	平成三年総会並びに遠賀郡岡垣町方面見学	
富田多門	南九州日向路の史跡を訪ねて	
編集部	博多承天寺開創七五〇年 仏殿其他落慶式典	
【第19号 1992年7月】		
佐伯弘次	<講演>対馬宗家文庫史料の現状	
渡辺文吉	「朝鮮国より硫黄所望の儀」－世界史を力で動かした硫黄の道（続）－	
平川定美	<資料紹介>「少式資元の子息松浦鎮（しげる）」の墓	
永浦英樹	京都・若狭・北近江の史跡探訪記	
八尋勇	若狭・北近江の信長	
【第20号 1993年1月】		
川添昭二	少式冬尚関係編年史料集稿	
西村強三	<資料紹介>太宰府天満宮の慶長五年在銘の鰐口について	九州歴史資料館研究論集4（1978.03）より再録
渡辺文吉	歴史と伝説の谷間 福岡県の長慶天皇伝説地を歩く	
西依祥一	紀州徳川藩の筑紫氏について	
財部登	平成四年度佐賀県武雄市に於ける総会及び佐世保市の大智庵城と松浦鎮の墓を訪ねて	
永浦英樹	勢福寺城麓発掘調査の見学記	
金丸寛	九州探題の本拠「鳥飼城跡」探査会記	
【第21号 1993年8月】		
川添昭二	少式冬尚没年条史料・少式政興史料	
川添昭二・渡辺文吉	少式冬尚関係編年史料集稿（読解編）	
吉良国光・渡辺文吉	少式冬尚没年条史料・少式政興史料（読解編）	
高野和人	<講話略録>草奔の群像	
八尋勇	沖縄紀行	
筑紫英一・西依祥一	紀州筑紫家伝来の孤瓢を拝見して	
編集部	<付説>新発見の生駒市筑紫家史料と福岡藩筑紫家のこと	
【第22号 1994年1月】		
堀本一繁	少式冬尚滅亡に関する一考察	
渡辺文吉	明応板碑（筑紫女学園所在）と箱崎合戦五百年を記念して	
宮本英樹	佐賀市与賀町本庄神社について	
甘蔗和子・徳山久美子	長門路探訪記	
内藤正夫	宗氏一族高良山座主となる事及び対馬田代領と久留米藩の河界争い	
編集部	<歴史ニュース落穂拾い>佐賀県神埼郡城原仏教祭祀遺跡	
八尋勇	<歴史ニュース落穂拾い>「おくのほそ道」「中尊寺秘宝展174」より	
編集部	<歴史ニュース落穂拾い>細川氏略系	
	<歴史ニュース落穂拾い>壱岐島江角触しょうじばつけ整備	新壱岐1993.8.26号より再録
編集部	<歴史ニュース落穂拾い>沖縄旅行余聞	
【第23号 1994年8月】		
平川定美	少式資元供養塔に関する一考察	
	「筑紫家覚書」について	筑紫彰門蔵
渡辺文吉	少式政資年表（試作）	
宮本英樹	佐賀県多久の少式さん（少式神社）	
川崎幹二	那珂川町の山城跡をたずねて	那珂川町郷土史研究会編『わがふるさとの山城跡をたずねて』（1993.11）より抜粋
安永資高	北薩入来院歴史探訪雑記	
渡辺文吉	朝河貫一先生と入来院書について	
	壱岐島の元寇関係資料（近代）	後藤罔丸提供
【第24号 1995年1月】		
本多美穂	室町時代における少式氏の動向（上）－貞頼期－	九州史学91（1988.02）より転載
渡辺文吉	松浦党『有浦文書』と岩門合戦	
	「筑紫家覚書」（続）	筑紫彰門蔵、他に筑紫猷門蔵文書3通を付す
八尋勇	勤皇の志士筑紫衛について	

	<資料紹介>庄触梅坂の宝篋印塔	占部英幸提供
渡辺文吉	五條家文書見学記	
真玉景造	中世豊後の城跡と戦蹟を訪ねて（その一）	
編集部	名護屋城博物館・佐世保遺跡見学会及び平成六年度総会の記録	
宮本英樹	鍋島藩の存亡を救った忠茂	
【第25号 1995年7月】		
本多美穂	室町時代における少貳氏の動向（下）－満貞期－	九州史学91（1988.02）より転載
渡辺文吉	足利将軍と博多禅林	
森弘子	<講話>太宰府と少貳氏－有智山城を中心に－	
鷺山智英	筑紫氏と山内氏・嶋氏	
永浦英樹	『歴代鎮西要略』に於ける少貳氏の動向	
寺田克巳	慶州旅行記	
川崎幹二	平蔵遺跡群－中世の製鉄工房址－について	
平川定美	推論「松浦鎮」の女の供養塔について	
財部登	戦後五十年回想録（一）	
赤木初枝	戦後五十年回想録（二）	
渡辺文吉	戦後五十年回想録（三）	
【第26号 1996年1月】		
	袖谷氏開書「大宰小兒（ママ）筑前国再御復之趣集」	袖谷圭三提供
川添昭二編	増補少貳氏関係論文目録 1995年7月	
渡辺文吉	筑前国比伊郷蒙古合戦恩賞地	
角田政治	肥後国菊池氏配下として土着した宗氏	内藤正夫提供
財部登	豊前 宇都宮氏遺跡見学記	
永浦英樹	戦後五〇年回想録	
八尋勇	終戦の年の思いで	
四海喬治	戦後五十年雑感	
【第27号 1996年7月】		
青木隆	松浦党『有浦文書』抜粋	有浦文書研究7、17（1995.07、1996.05）より抜粋
石橋逸郎	加布里城の遺構（附関係年表）	
徳久豊彦	与賀神社と少貳氏について	
松隈嵩	天草史跡探訪記	
牟田平一	戦後五十年の想い出	
真玉景造	戦後五十年の追想	
四海喬治	筑後の八女は首都移転候補地	
【第28号 1997年1月】		
編集部	<資料紹介>藤瀬文書	由比章祐提供
編集部	「名護屋氏棟札」について	本多美穂提供
渡辺文吉	「横岳家文書」中の「配分帳」について	
袖谷圭三	袖谷氏系図	
川崎幹二	福岡県筑紫郡那珂川町に今でも残る国境石	那珂川町郷土史研究会編『那珂川町に今でも残る筑前・肥前の国境石（実施調査記録）』（1996.11）より抜粋
	武藤（健市）家系図	武藤健市提供
四海喬治	石見銀山と毛利元就の史跡をたずねて	
渡辺文吉	毛利元就・小早川隆景・乃美宗勝	
【第29号 1997年8月】		
	<資料紹介>与賀神社蔵 康光太刀	
編集部	「戊子入明記」略述	
湯浅亨	合衆製作の要領	川崎幹二提供
渡辺文吉	持衰謹まざるの記	
袖谷圭三	城山－金田城の謎－	
松岡史	蒙古襲来の断片的史料	
洲上登美	千葉氏の後裔、三郎右衛門尉平胤明とフェートン号事件	房総の郷土史17（1989.03）より再録
財部登	佐賀市与賀町与賀神社境内社少貳神社五〇〇年大祭に詣でて	
【第30号 1998年2月】		
川添昭二編	大宰府征西府年表稿	
吉井功児	<随想>対馬見聞の旅に寄せて－宗氏歴代や柳川氏のことなど偲びつつ－	

鳥巢京一	少貳氏の時代と茶の湯
青木隆	三十号祝詞
荒木栄司	貴誌三〇号発行に際して
田坂大蔵	「少貳氏と宗氏」三十号の発刊にあたって
吉良国光	青本文書中の一史料
八尋勇	武蔵少貳氏の出自
永浦英樹	「武蔵少貳伝」について「歴代鎮西志」より
吉木豊	碓石
【第31号 1998年8月】	
福田敏	壱岐島の元寇について
服巻清子・西 依祥一	筑紫氏余聞 筑紫治門と谷口家（冶工家）
永浦英樹	菊池十八外城探訪記
八尋勇	淀姫神社と五所八幡宮
八尋勇	<卓話抄>安徳天皇の蒙塵
宮本英樹	<卓話抄>葉隠
編集部	少貳氏略年表
【第32号 1999年6月】	
渡辺文吉	少貳宗体制の意義について
編集部	龍造寺氏
八尋勇	拉致された朝鮮の陶工たち
川崎幹二	那珂川町（福岡県）の歴史を探る
寺田克巳	<紀行文>台湾駆けめぐり
八尋勇	<卓話抄>中国・西安の案内（スライド使用）
浅井繁利	中世に生きた刀工、金剛兵衛一門の謎
【第33号 1999年12月】	
梅野初平	対馬の古文書について
川崎幹二	肥前街道・筑前街道－背振坂越（坂本峠）－
八尋勇	元号制定の推移
	<卓話抄>糸島地方の遺跡
	<写真>武藤資頼・少貳資能の墓
【第34号 2000年6月】	
西村栄弘	大原合戦
編集部	武藤資頼・資能の墓
渡辺文吉	九州に足を踏み入れた唯一現職の征夷大將軍足利義昭
八尋勇	小早川秀秋を巡って－秀秋は北ノ庄には行かなかった－
【第35号 2001年6月】	
八尋勇	遣唐船の人々
梅野初平	対馬藩 朝鮮方の人々（朝岡謙之助の奉公録より）
松隈嵩	関ヶ原と湖東 旧跡探訪記
【第36号 2002年4月】	
八尋勇	武藤少貳氏の盛衰
後藤罔丸	壱岐発展に繋がる 元寇の少貳資時公銅像建立を祝して－元寇七二〇 年記念行事にご招待頂いて－
古賀幹人	<寄稿>元寇の将の像成る五月晴
編集部	武藤少貳氏関連の遺跡、遺物について
八尋勇	大宰帥・大宰権帥・大宰員外帥（付「太宰府天満宮」）

（かわぞえ・しょうじ 太宰府市公文書館構想調査研究委員会顧問／九州大学名誉教授、
すじゃく・しんじょう 太宰府市市史資料室囑託）